

# アフガニスタンの現状と課題

## 1. 基本的な問題状況

- アフガニスタンでは、これまでの国際社会の支援により国造りが行われ、避難民帰還、就学児童数、医療等の面において改善が見られる。他方、近年治安の悪化が著しく、麻薬や汚職の蔓延等の課題が山積しており、依然として厳しい状況。(例:2009年1月から7月の、月平均の治安事件数は898件(前年同時期の月平均677件)に比べ、約32%増)
- アフガニスタンでは治安能力の向上のため、現在、国軍、警察の増員計画が進行中。
- 2. アフガニスタン大統領選挙と新政権の成立
  - 09年8月20日の大統領選挙は、再審査、大量の無効票の結果、決選投票となったものの、結局対立候補の決選投票不参加により、カルザイ候補の大統領選出が決定。11月19日の大統領就任式後、組閣に取り組みむが、未だ全閣僚の認証は得られていない。
  - 11月19日の大統領就任式におけるカルザイ大統領の演説は、平和と和解、治安、腐敗、経済開発、地域協力といった問題に対処する意思を表明する内容となった。
- 3. 国際社会の取組の現状
  - 国際社会は、治安上の取組を強化。
    - 一 現在、国際治安支援部隊(ISAF)43カ国・約84,150名が駐留。
    - 一 オバマ米大統領は、09年12月、以下の3つを柱とする新戦略を発表。①アフガニスタンに責任を移譲するための軍事力強化(2010年前半に3万名の増派を行い、2011年7月に撤退を開始)、②民生支援の強化(アフガン人の生活に即時的効果を与える農業等の分野への支援に焦点を当てる)、③パキスタンとの連携。
    - 一 米軍は、10年1月現在、約70,000名が展開(ISAFに加え、OEF要員も含む)。
  - 我が国は、09年11月、アフガニスタンに対し、早急に必要とされる約800億円の支援を行うとともに、これまでに約束した総額約20億ドル程度の支援に替えて、今後のアフガニスタンの情勢に応じて、2009年から概ね5年間で、最大約50億ドル程度までの規模の支援を行う旨を表明。
  - 1月28日、ロンドンで、英国、アフガニスタン及び国連が、アフガニスタンに関する国際会議を共催。G8、ISAF参加国、アフガニスタン近隣国等、約80の国・機関等が参加し、治安、開発とガバナンス、地域的枠組等に関して議論。要旨以下のコミュニケーションを発表。①治安確保の責任のアフガン政府への移譲につき一致、国際社会はアフガン国軍及び警察の拡大のための支援にコミット、②再統合基金設立に関する国際社会のコミットを支持、③汚職対策等へのアフガン政府の取組を歓迎、国際社会はアフガニスタンへの支援継続をコミット。